令和７年度　地域連携推進会議　議事録

１　開催日時　　令和７年１１月１８日（火）９時３０分から１０時４５分
２　開催場所　　ハイツ花つばき　リビング
３　出席者　　構成員　利用者代表
　　構成員　利用者家族代表
　　構成員　地域の代表者
　　構成員　福祉と経営に知見を有する者
　　構成員　市町村の担当者
　　職員　　管理者
　　職員　　主任生活支援員
４　会議内容
（１）開会の挨拶
　管理者より挨拶を行い、地域連携推進会議の目的を共有した。
（２）出席者自己紹介
　それぞれ自己紹介を行った。
（３）社会福祉法人青森県玉葉会について
　『法人のあらまし』を見ながら、法人の理念、基本方針、事業内容、沿革、ハイツ花つばきの平面図、組織と職員の有資格状況、苦情解決体制についての説明を行った。
（４）共同生活援助事業所ハイツ花つばきについて
　パンフレットを見ながら、入居定員、女性限定である事、空室が１室ある事、入所期間、共用設備、スタッフ、利用料金、利用者の年齢層、障害の種別、障害支援区分の程度等についての説明を行った。
（５）事業計画、事業報告について
　『法人のあらまし』を見ながら、昨年度の事業報告について説明を行った。行事の説明の際は写真を使用した。その後、令和７年度の事業計画についての説明を行った。
（６）閉会の挨拶
　管理者より挨拶を行うと共に、後日議事録を送る事、次回の開催は来年を予定している事を伝えた。
※会議終了後、ハイツ花つばきの見学を行い、解散。
５　意見交換について
　説明の合間に質疑の機会を設ける中で寄せられた質問等は以下の通りであった。

質問）緊急時の対応はどうなっているのか。
回答）電話対応後に駆けつけるか、セコムの対応か、バックアップ施設である白鳥ホームでの対応。
質問）防犯カメラは付いているのか。
回答）３か所（玄関、後ろ、横）設置している。
質問）調理は自由にできるのか。
回答）自由にできる。ＩＨコンロのため、火を使わず安心である。
質問）共益費は電気代、水道代、共有している物の購入代という認識で良いか。
回答）その通り。その他、コロナ禍になってからＷｉ-Ｆｉの環境も整えたため使用可能。洗濯の洗剤等個人で使用する物は個々で購入している。
質問）今までに共益費の値上げはあるか。
回答）１度している。食品の値上がりもあり、食料費も圧迫している状況。
質問）65 歳以上になれば退所しなければいけないのか。
回答）退所する必要はない。夜間、休日は職員が不在のため、居られる方となる。
質問）お薬の管理はどうしているのか。
回答）心配な方はリビングにお薬カレンダーを置いて管理している。居室で管理している方は服薬する時にリビングへ持って来ている。職員がいる時間帯での服薬の場合は全員の服薬確認を行っている。職員がいない日・時間帯での服薬は自己管理となる。
質問）行事は参加した利用者がお金を払うのか。
回答）調理実習代は事業費で払っている。買い物の交通費や昼食代、買い物代は参加した利用者が払っている。公用車を使用した場合は１ｋｍ25 円で計算し、参加した利用者で交通費を折半している。
質問）行事は平日の日中に実施しているのか。
回答）調理実習は金曜日の午後か、祝日に実施している事が多い。お花見や買い物等は平日の日中に実施している事が多い。
質問）休日はどう過ごしているのか。
回答）居室でくつろぐ方もいるが、町内や青森市内へ買い物に出かける方もいる。
提案）教育委員会でプランターの花植えをしているが、今後利用者に手伝ってもらい、花つばきの前にも置けば地域との繋がりができたり、通りが華やかになるのでは。
回答）前向きに検討したい。
質問）金銭管理はどうしているのか。
回答）利用者の希望によるが金銭管理サービスを利用して通帳、印鑑を預かっている方はいる。

以上